



貧困の根絶に向けて

— 貧困理論の新たな地平 —

かつて貧困といえば、「食べることができないほどの生活状態」を意味していました。しかし、「食べることができている」からといって「貧困」ではない、と断定することはできません。「貧困」という概念は、段階的に拡大しており、新たな意味・要素が追加されています。貧困対策には、貧困の緩和という短期的な視点とともに、貧困の根絶という長期的な視点が欠かせません。なぜ貧困が生まれるのかを考えることが求められています。この機会に、一緒に考えてみませんか。

講 師 **志賀 信夫 先生** (大分大学福祉健康科学部准教授)

【講師の紹介】志賀信夫 (しが のぶお)
(研究分野) 貧困理論、社会開発
[著書] 『貧困とは何か —「健康で文化的な最低限度の生活」という難問』 (ちくま新書、2025 年)、『貧困理論入門 一連帯による自由の平等』 (堀之内出版、2022 年)
[共著] 『漂流するソーシャルワーカー —福祉実践の現実とジレンマ』 (旬報社、2024 年) など。



大分大学HP

◎日 時 2025 年 **10** 月 **4** 日 (土)

《定期総会》 **13** 時 ~ **14** 時

《記念講演》 **14** 時 **30** 分 ~ **16** 時 **30** 分 (質疑を含む)

◎場 所 **防長苑 1 階・白鳳の間** (山口市熊野町 14-29)

TEL (083) 922-3555 (参加者は、駐車料金が無料です。)

※参加費 無料 どなたでも参加できます。

■主催 **山口県地方自治研究所** (事務局：山口市中央 4 丁目 3-3) [お問い合わせ] TEL (083)-934-5280 Fax (083)-934-5267